

# 遠野市助産院の開設

愛称 「ねっと・ゆりかご」

～モバイル遠隔健診主軸に  
助産院スタート～

平成20年4月9日

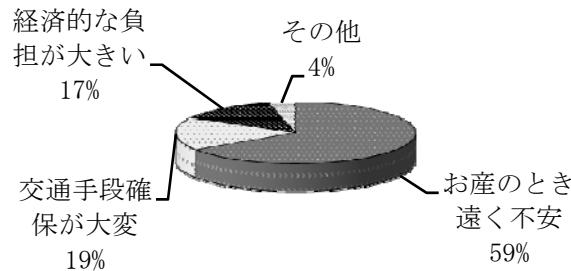
岩手県 遠野市長 本田敏秋

# 妊婦の不安増大・「出産控え」約4割の危機

(遠野市:平成17年度調査)

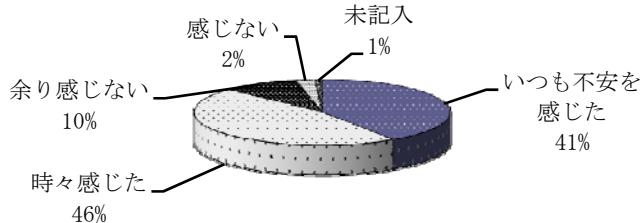
遠野市内の妊産婦を対象に遠野市が平成17年度に実施したアンケート調査では、市内にお産を取り扱う医療機関がなくなり、遠距離通院への不安と経済的負担を感じている人が大多数を占めました。また、地域でお産できないことに出産を控えたいと感じた人が4割に達する勢いであり、産科医療確保は緊急課題です。

## どんなことが不安でしたか？



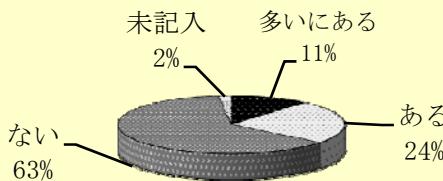
どんなことが不安であるかは、お産のときに遠く不安が59%、交通手段の確保が大変であることが19%、経済的負担が大きいことが17%の順となっている。

## 市内で出産できないことに不安を感じましたか？



市内に医療機関がないことでいつも不安を感じた人は41%、時々感じた人46%。不安を感じている人は87%に及んでいる。

## 医療機関がないことで妊娠(出産)を控えようと思ったことがありますか？



市内に出産できる医療機関がないことで妊娠(出産)を控える24%、多いにあるが11%あった。控えないは63%である。

# 遠野市 産科の現状

14年4月⇒出産取り扱う医療機関なし  
盛岡市・花巻市・釜石市などに遠距離通院

平成18年度 遠野市在住妊婦の医療機関受診の動向

	水沢	北上	花巻	盛岡	大船渡	釜石	計
妊婦数	1	25	40	119	6	34	225
割合	0.4%	11.1%	17.8%	52.9%	2.7%	15.1%	100%
通院距離(キロ)	55	55	45	63	45	25	—
所要時間(分)	80	80	70	90	70	40	—

※通院距離及び所要時間は、市役所間で算定

## 現状

- 出産扱う医療機関ない
- 医療機関まで遠く不安
- 経済的(時間的)負担が増加

## 課題

- 妊婦の不安解消  
負担軽減
- 医療機関の確保
- 助産師の活用
- 救急体制の確立

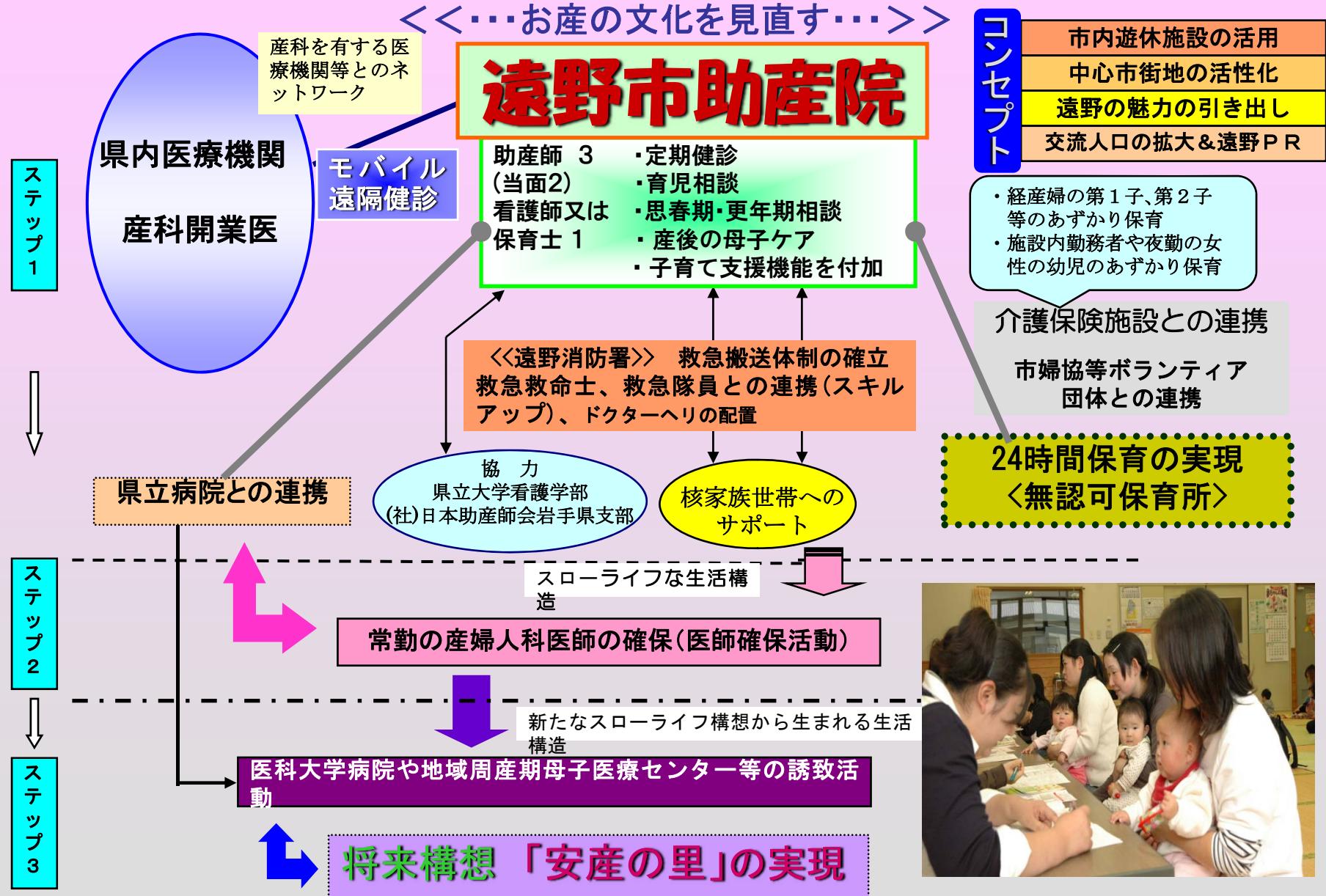
### 取り組んできた事項

- ・妊産婦通院助成事業
- ・訪問指導の強化
- ・相談の場の確保
- ・妊婦健診



※全体の半分以上は盛岡市(53%)に集中。

# 遠野型助産院ネットワーク構想



# 遠野市助産院



公設公営

妊産婦の不安解消・負担軽減  
ネットワークの構築  
医師の負担軽減



- ・妊産婦健康相談
- ・分娩開始期相談
- ・乳幼児(育児)相談
- ・思春期・更年期相談
- ・産後及び乳房のケア  
(乳腺炎等のトラブル)
- ・健康教育
- ・妊産婦への保健指導  
(乳房の手入れ等)
- ・妊産婦及び両親教室
- ・性教育
- ・産科医療機関等の  
情報提供
- ・電話無料相談

- ・主治医の指示  
で妊婦健診  
(妊婦が出産前  
に行なう定期  
健診を主治医  
の指示により  
数回実施)
- ・モバイル妊婦  
在宅管理シス  
템活用

- ・臨時応急時の  
対応
- ・主治医への連  
絡及び指示に  
による処置
- ・救急搬送時の  
同乗
- ・分娩期相談  
(入院のタイミング  
等の相談)

- ・子育て支援ス  
ペースの提供  
(妊産婦の幼児  
等が遊べるス  
ペースを確保)
- ・妊産婦交流ス  
ペースの提供  
(妊産婦同士が  
交流(談話)で  
きるスペース  
を確保)

- ・妊娠末期から  
産褥期の支援  
(出産前或いは  
出産後に自家  
を離れて家族  
が安心して生  
活できる空間  
を確保)
- ・マザーリング
- ・メンタルヘルス

- ・老人介護保健  
施設との連携
- ・地域やボラン  
ティア団体と  
の連携  
(経産婦の第1  
子、第2子等  
の預かり保育)
- ・施設内勤務者  
や夜勤の女性  
の幼児の預か  
り保育)

助産院で出産は取り扱わない

# 遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」開設

モバイル遠隔妊婦健診をはじめ・・・

妊婦相談・健康教育等の業務を先行開始



●開設日：平成19年12月1日

●場所：遠野健康福祉の里  
(施設の事務室を改装)

●開所日時：毎週 月～金 9:00～12:00  
(土・日・祝日休業) 13:00～17:00

●スタッフ  
所長 健康福祉の里所長 (健康福祉部長)  
保健課 母子保健係  
助産師(2人) 平成20年4月から

## \* 主な業務と料金(自由診療) \*

- 妊婦一般健診 ..... 3,000円
- モバイル遠隔健診 ..... 4,500円
- 乳房管理 ..... 3,000円
- 新生児健診 ..... 2,000円
- 沐浴 ..... 3,000円
- じょく婦健診 ..... 2,000円
- 緊急搬送付添 ..... 3,000円  
(1時間あたり)
- 健康相談・指導 ..... 無料

少子化対策の中、市内はじめ  
里帰り出産する妊婦さんの：  
**無料化を検証中**

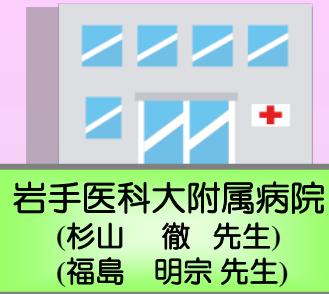
助産院の愛称は、市民公募をして「ゆりかご」の名称を選定し、更に遠野型助産院ネットワーク構想の具現化を推進する想いを込めて、ネットワークの「ネット」を引用し、親しまれるようひらがな表記として「ねっと・ゆりかご」と決定したものです。

# 9医療機関とネットワークを構築

安心

バ'ル遠隔健診主軸に連携

安全



県総合周産期  
母子医療センター  
(岩手医科大学)

嘱託医療機関  
盛岡赤十字病院

松藤 原 壮 正 純 先生  
先生



小林産婦人科医院(盛岡)  
(小林 高 先生)



モバイルCTG装置 医療機関と助産師が連携・協力します

遠野市助産院  
ねっと・ゆりかご



黒川産婦人科医院(盛岡)  
(黒川 賀重 先生)



KUBOクリニック(花巻)  
(久保 智秀 先生)



工藤医院(花巻)  
(小暮 正彦 先生)



緊急対応も

指示・連携



県立大船渡病院  
(小笠原 敏浩 先生)

助産院監督医



県立釜石病院  
(小笠原 敏浩 先生(兼務))

北上済生会病院  
(小山 俊司 先生)

安心



妊産婦を身近でサポート

“妊婦主治医の指示で安心安全に”

- 遠隔健診主軸に不安解消・負担軽減
- きめ細かなケアでリスクの低減
- 産後の母子管理と子育て支援
- 緊急時の迅速・円滑な搬送

妊産婦を見守る

安全

月1回監督

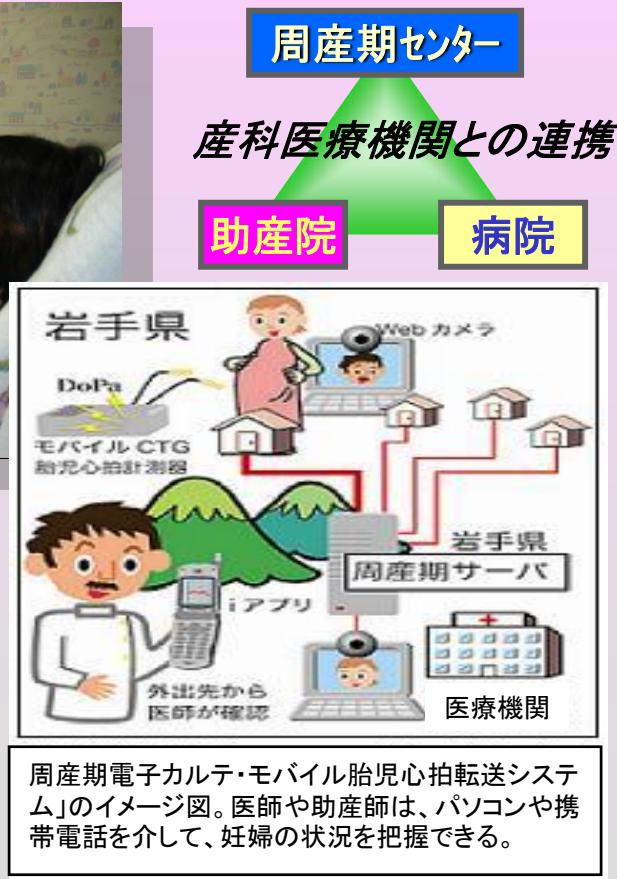


# 遠隔妊婦健診を主軸に

## 経済産業省モデル事業

## 「地域医療情報連携システムの標準化及び実証事業」

## モバイル胎児心拍転送システムを活用



# IT 技術で 妊娠を見守る 負担軽減と不安解消

H20年3月末までの健診実績60人・延べ118回

over the Internet. Using Internet telephony, users can make calls to the U.S. and mobiles can talk and see each other on the laptop.

Dr. Toshiyuki Ogasawara can determine whether a patient is in Tokyo, Boston, or elsewhere, a problem that has plagued drivers who drive across Kansai.

"After a gynaecological consultation, if the doctor says they have to spend another 40 minutes driving back to the middle of the city, the patient will say 'I can't talk to the mobile, and if I try'

The machine hooked to Mr. Furukawa's head was a Dr. Ogasawara's "collarbone phone." After a long, brief Internet connection was connected to Mr. Kikuchi's laptop, the link was down — the first time that had happened since the machine was installed.

Besides Tom, three other cities adopted the system last fall, said Mr. Kikuchi, the health official. After a three-year evaluation to work out any potential problems, the system will be given final test run. So Mr. Parasada spoke to the doctor over the telephone, instead of seeing his face on the laptop.

dear normally would have accessed over the internet. But the phone's signal was weak, and the doctor had to leave.

"Yes?" Mr. Kikuchi said, seconds before the call was dropped. "I'm sorry. Do you should go next week? Mykaline is..."

Kikuchi, 38, the city's long-time midwife, has been creating a website, [www.kikuchi.com](http://www.kikuchi.com), to help pregnant women learn about the new system.

Chieko Asanuma, 28, who delivered her second child five months ago, said she was a little anxious about the new system at first. But as Ms. Kikuchi began visiting her at

It was a blizzard, you see, and I was torn should go in this circumstance. Ms. Kluchi, who is not in the city health official home and Dr. Ogawa advised her from Kamashi, Ms. Asanuma

The New York Times, \$2.00 (\$1.00 in Canada), is published daily. Periodicals postage paid at New York, N.Y., and at additional mailing offices. Postmaster: Please address changes to The New York Times, P.O. Box 250, Northvale, N.J. 07647.

Mail Subscription Total	1.75	1.00
Workdays and Five Days	74.00	37.50
Workdays	62.00	32.00
Five Days	12.00	12.00
Total Mail Revenue	63.00	
Large Print Weekly	75.00	

Higher rates, available on request, for mailing outside the

At a clinic in Town B in February, 1965, a machine hooked up to a patient's arm caused a heat wave to pass through his body and send the internal temperature to 105° F. The patient was hospitalized at a local hospital.

## 2007.4.8 ニューヨークタイムズ 遠野のモバイル遠隔健診を紹介

# 遠隔妊婦健診のメリット

小型軽量のモバイル胎児心拍数検出装置(CTGモニタ)で、医師が病院から通信ネットワークを介して、パソコンや携帯電話で遠隔地の妊婦の胎児心拍情報を常時受け取ることができます。



1 遠距離通院負担の軽減

2 健診の待ち時間短縮

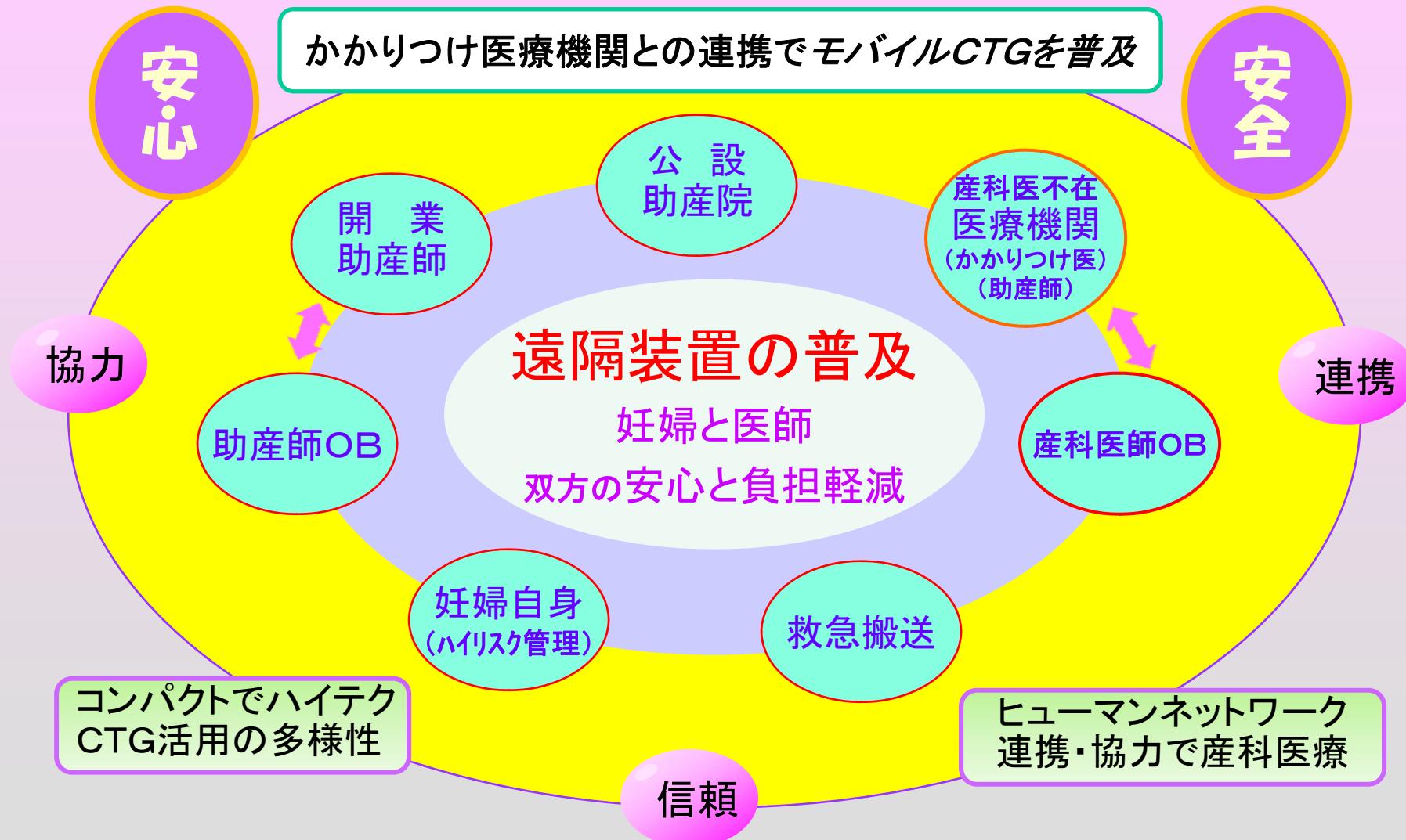
3 医療機関との連携でケアの充実

4 遠距離居住妊婦の不安解消

5 周産期医療の情報ネットワーク

# 遠隔装置(モバイルCTG)の普及

医療機関で安心安全にお産を迎えるために



# 助産院開設後の課題と方向

## 産婦人科医不在の対応

- 産科医療の確保対策
- 連携協力医と助産師の確保
- モバイルCTGの活用
- 周産期情報ネットワークの構築(岩手県検証中)

## 助産院の運営

- 助産師の活用→運営費の増大
- 嘱託・連携協力医療機関の拡充
- モバイルCTGの安定運用と普及
- 妊婦健診の徹底(主治医との連携)
- 健診等の無料化検証(負担軽減でお産を支援)

## 産科医療の環境整備

「赤ちゃんを産みたい・・・」の地域づくり

## 市民協働で少子化対策

少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすつプラン」

“地域事情に柔軟に対応できる総合支援策として”  
産科医療過疎地域への新たな支援制度創設を

# 産科医療過疎地域の挑戦

市民協働で築く“安産の里づくり”

産科医療確保へ  
新たな支援制度を

地域でお産ができない

妊婦・家族の  
不安と負担  
「お産控える」

遠野型助産院ネットワーク構想

## 少子化対策

安心安全な  
お産環境

赤ちゃんたくさん…  
地域でお産サポート

合計特殊出生率  
目標2.08

少子化  
ストップ

公設公営助産院開設

医療機関の連携

- 助産師の活用
- 不安解消
- 通院負担軽減
- 妊婦の見守り
- お産環境を改善

遠隔妊婦健診

教育 救急

整備

短期入所・マザーリングも

参画

“子育てするなら遠野市”

出生のサービス

保健医療の支援

経済的支援

保育のサービス

職場環境の支援

社会地域と連携

学校教育との連携

# 安産の里をめざして...



遠野市キャラクターマーク  
(市の花、やまゆりを持つ河童の「カリンちゃん」とめがね橋)